

協定校主催プログラム 参加報告書

参加したプログラム名（大学名）	March 2021 Language and Culture program (カナダ レジャイナ大学)
留学期間（yyyy/mm/dd）	2021/02/28-2021/03/20

1. 準備について（留学先の担当者とのやりとりや事前準備など）

留学先の担当者さんがとても優しく、気軽に分からないことがあれば相談することが出来た。（私の場合、オプションコースをとっていたのだがその日程について不明な点があったため質問した）また、千葉大学の留学生課の方にも CC でレジャイナ大学とのメールのやり取りを送ることで、双方が状況を把握でき、いざとなったら日本語で頼ることが出来るため安心して準備を進めることが出来た。

学習面での事前準備は、英語が周囲と比較すると得意ではないため CALL 英語を活用してリスニング力への不安をカバーした。特に Canadian ways という項目があるため、リスニング力だけではなく最低限のカナダに関する知識（特に地形）をインプットできたため安心して授業に臨めた。

環境面での事前準備は、この 1 年間オンラインでの授業展開だったこともありネット接続に関する準備は既に整っていたため特別することはなかった。ただ大学での授業よりも接続は不安定になるため、普段の授業でも不安がある人は対策をするべきだと考える。

2. 授業について

このプログラムの期間は 3 週間で、週ごとにトピックが異なっていたため、それぞれを簡潔に説明していきたい。

1 週目は主に学生らの緊張をほぐすためのコミュニケーションが多かった。千葉大学だけではなく獨協大学や山口大学など全国の大学から参加者が集まっており、互いを知らなかったためである。具体的には趣味や大学での専攻など、自分の基本的なプロフィールをお互いに話した。また自分の住んでいる町や育った町についてのスピーチを行うなど、比較的皆が話しやすい内容であった。

2 週目はカナダについてより詳しく知ることを目的とした授業が多かった。（2 週目の）最終プレゼンが先住民族の文化と日本の文化の共通点・差異についてだからである。具体的には先住民族の習慣・文化・現在の状況について学んだ。初めて知ることが多くとても楽しかったが、逆に日本の先住民族や文化のことを聞かれたときに答えることが出来なかったため「日本の文化を知っておく、説明できるようにしておく」というのはとても大切な準備だと考える。

第 3 週は全体的に最終プレゼンへの準備への時間であった。複数人で 1 つの PPT を作成

するものであったため、Google スライドなどを利用したことがない人は使い方を確認しておくに立つのではないかなと思う。

3. オプショナルのコースについて（追加した場合）

1 対 1 で好きなことを英語で話す機会というのが少ない人にとっても勧めたいコースであった。私の場合、1 回 30 分を週 3 日で行ったのだがとても楽しく、このコースのおかげで授業への姿勢も良くなったのではないかと考える。（授業前にオプショナルコースの zoom があったため）

ただし注意点が 1 つ、スケジュール管理についてである。1 回目のミーティングの際に気づいたのだが、時差の関係で互いが思っている日付がずれてしまった。（日本とレジャイナの時差は 15 時間。木曜日に会おうと確認していても、日本の木曜日は相手にとって水曜日である場合がある）そのためスケジュールを調整する際は「日本時間で〇時（レジャイナで△時）」という風にメールでやり取りをすることをお勧めする。

4. プログラムを終えて

授業やその日の課題は普通の大学の授業とは異なるもので、とても新鮮であった。わからないことがあればインストラクターに気軽に質問で出来る雰囲気（時差のため素早い返信は望めないが）この 3 週間とても楽しく学習できた。

私は長期休暇中に新しい経験をしたい、英語力を向上させたい、英語を使って会話をしたいという目的で参加をしたためこのプログラムととても合っていた。（カナダの〇〇の専門知識を学びたい、と考えている人にとっては物足りなくなってしまうかもしれない）

そして「オンライン留学」に対する認識の話もしておくと、私はこのプログラムを通して単語や文法など基礎的な能力が不足していると気づくことが出来た。直接現地に行ってしまうという留学とは異なり自らの興味のある分野を掘り下げる、フィールドワークへ行くといったことは残念ながら出来ない。しかしオンラインという「気軽さ」から移動を伴う留学への準備として受講する、また先に述べたような自分自身の課題の発見という目的を持っている人に関しては最適なプログラムであると考えます。